

(別紙)

物件目録(1) (被告製品(1))

商品名「日本鋼管CデッキC-50, C-75兼用金具 グットナル」とする吊りボルト係着金具

具体的には、下記写真のとおり

図1 斜視図

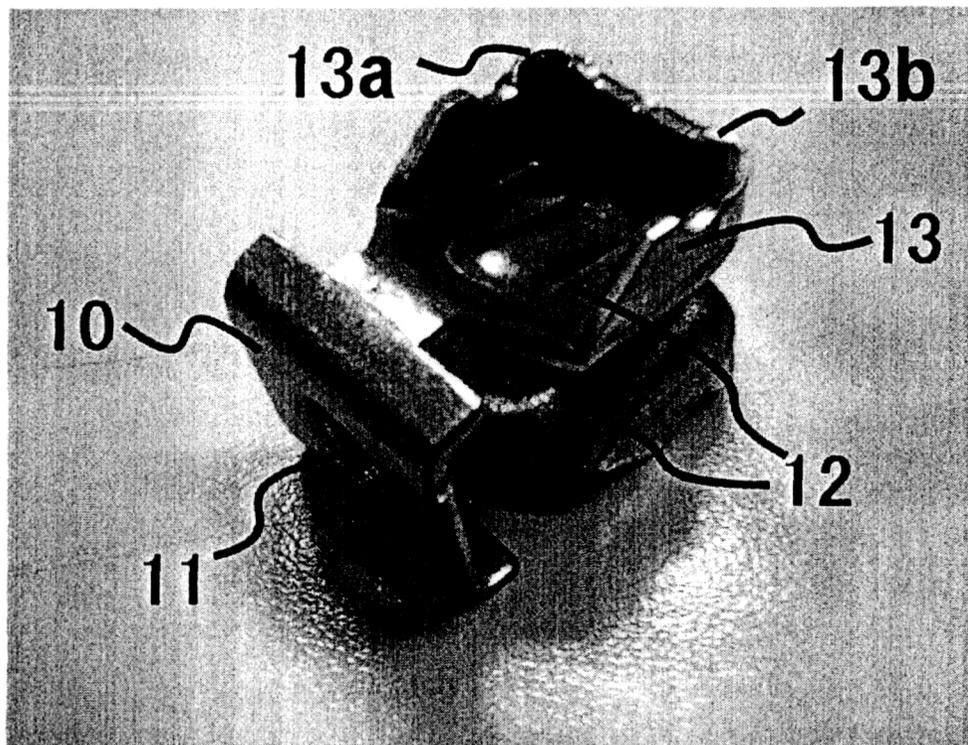


図2 斜視図

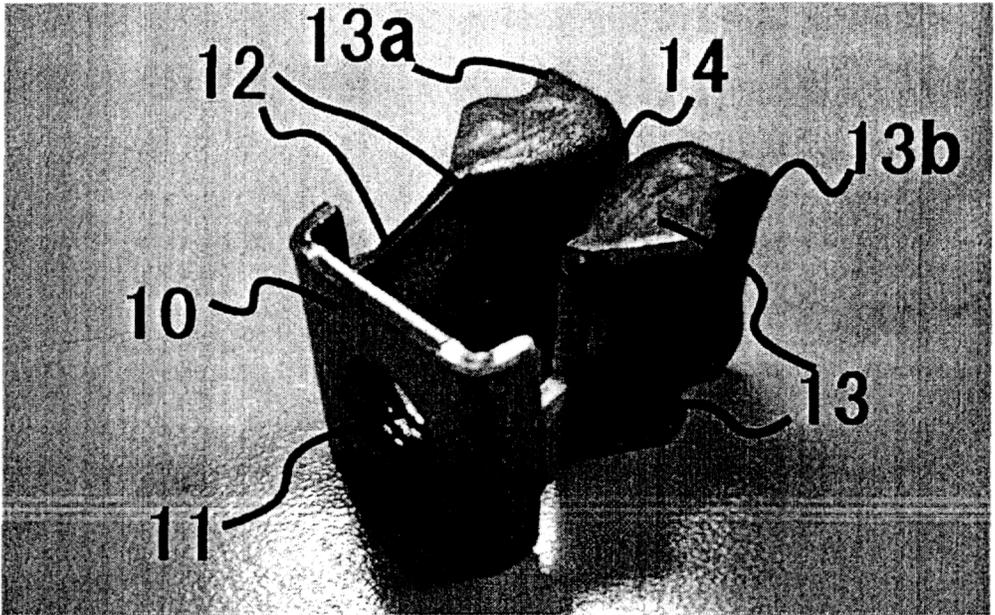


図3 正面図

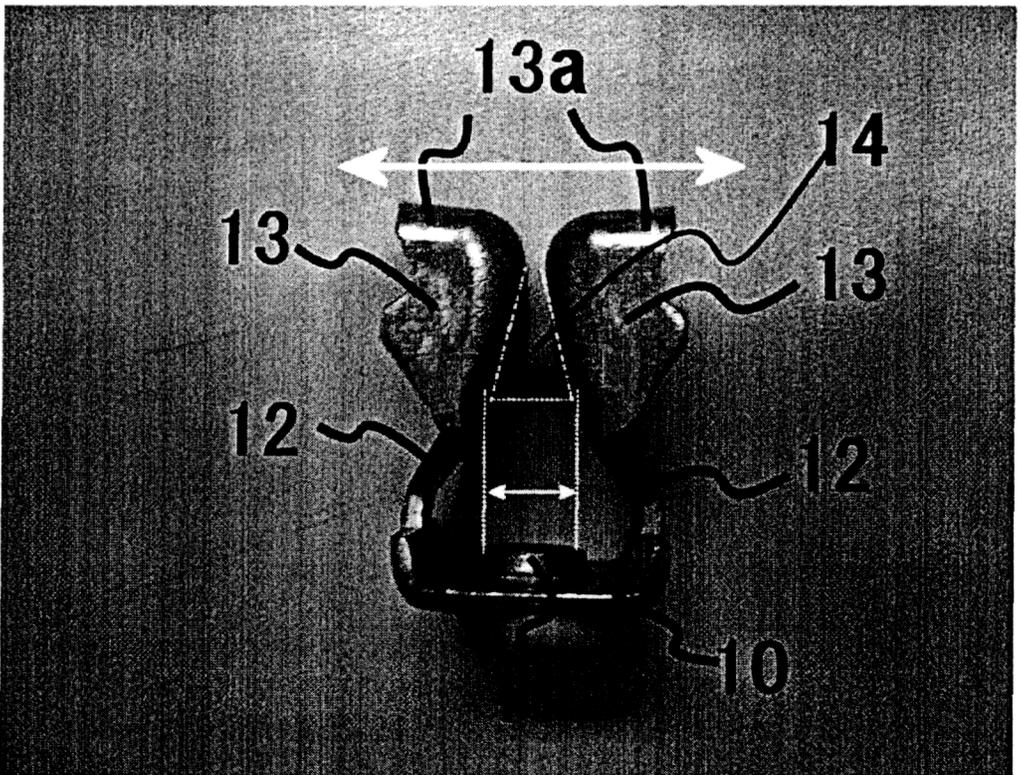


图4 侧面图

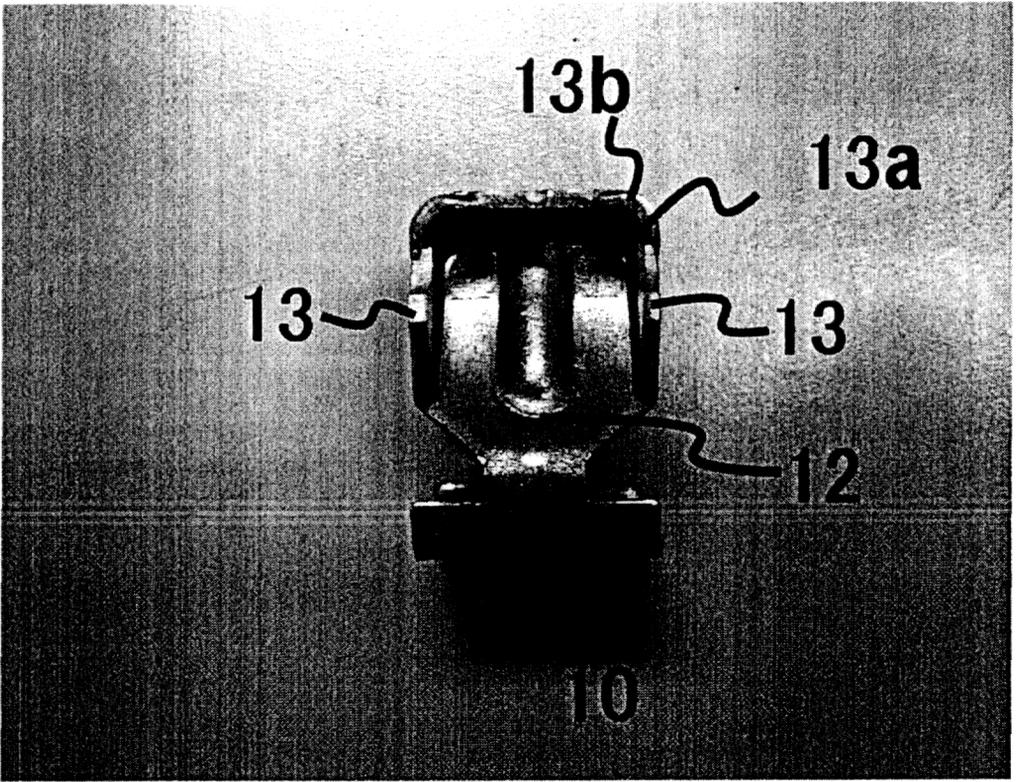
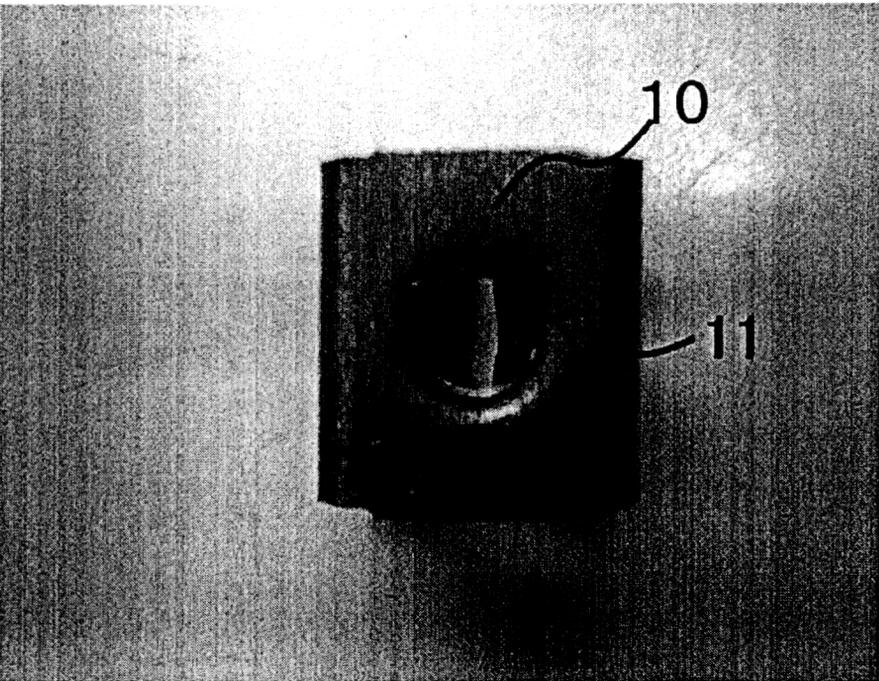


图5 底面图



物件目録（２）（被告製品(2)）

商品名「日本鋼管CデッキC-50, C-75兼用金具 グッドナル」とする吊りボルト係着金具

具体的には、下記写真のとおりである。

図1 斜視図

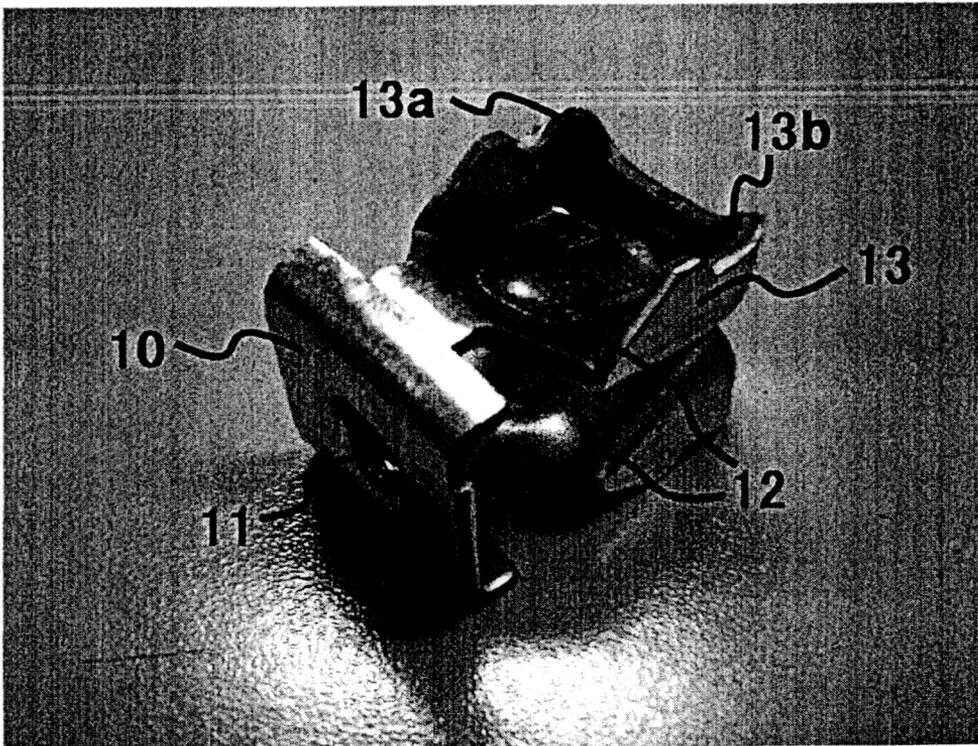


図2 斜視図

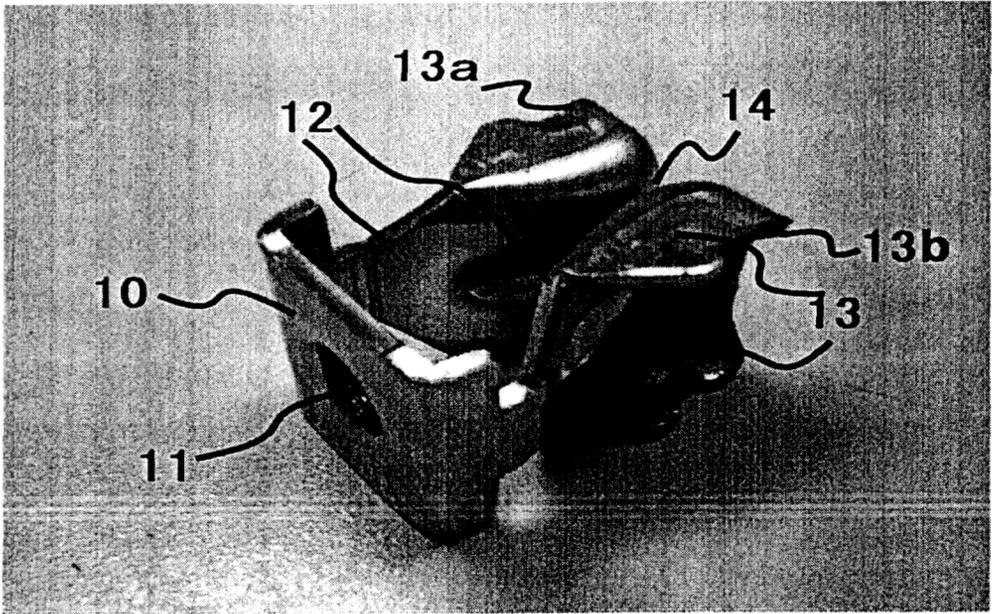


図3 正面図

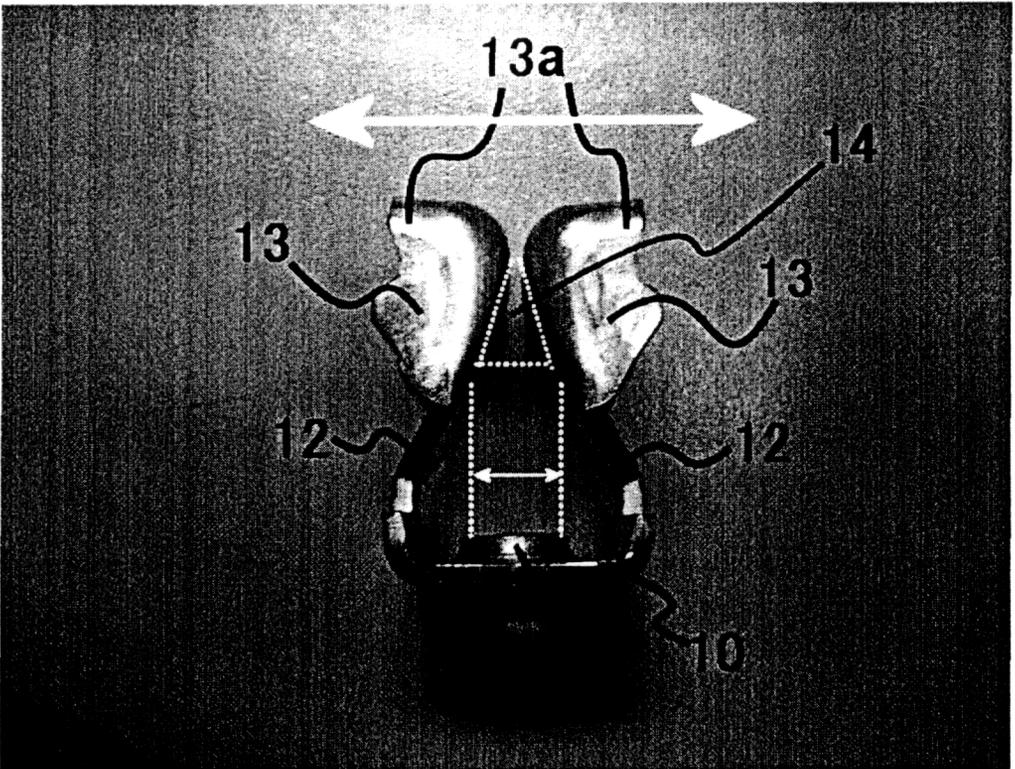


图4 侧面图

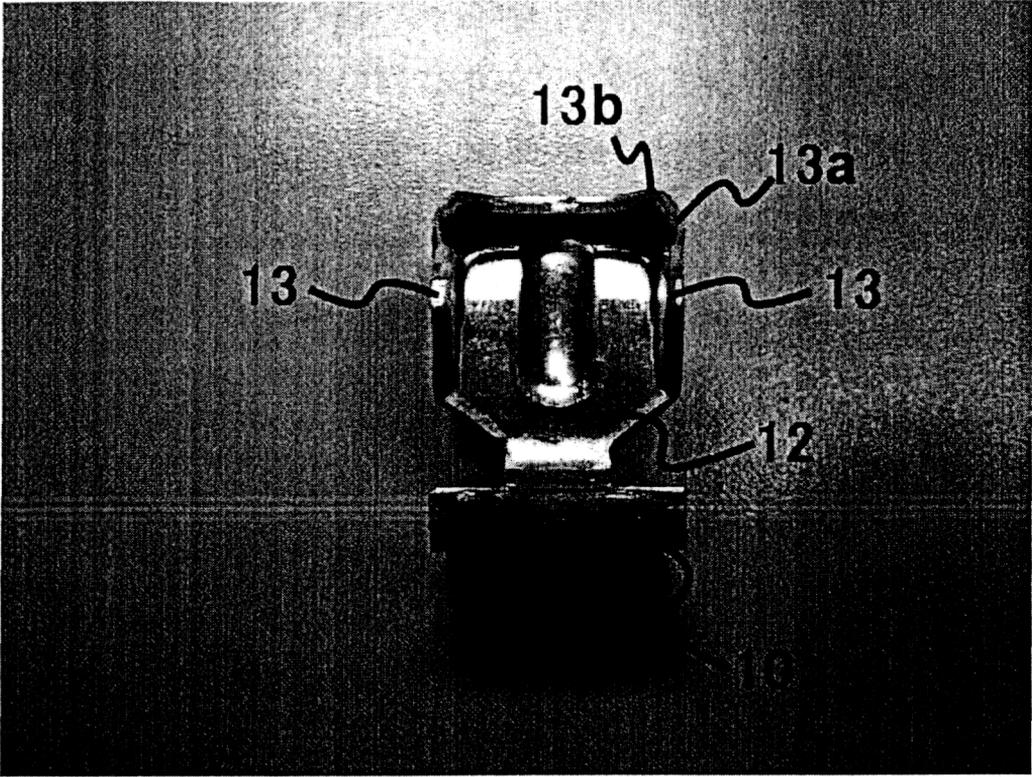
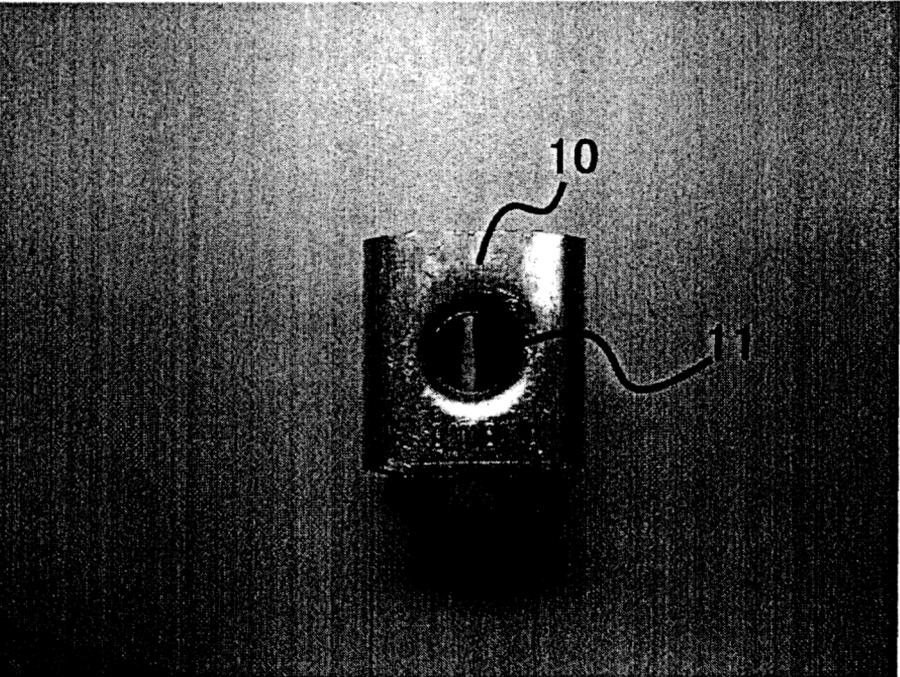


图5 底面图



原告ら主張に係る被告製品の構成

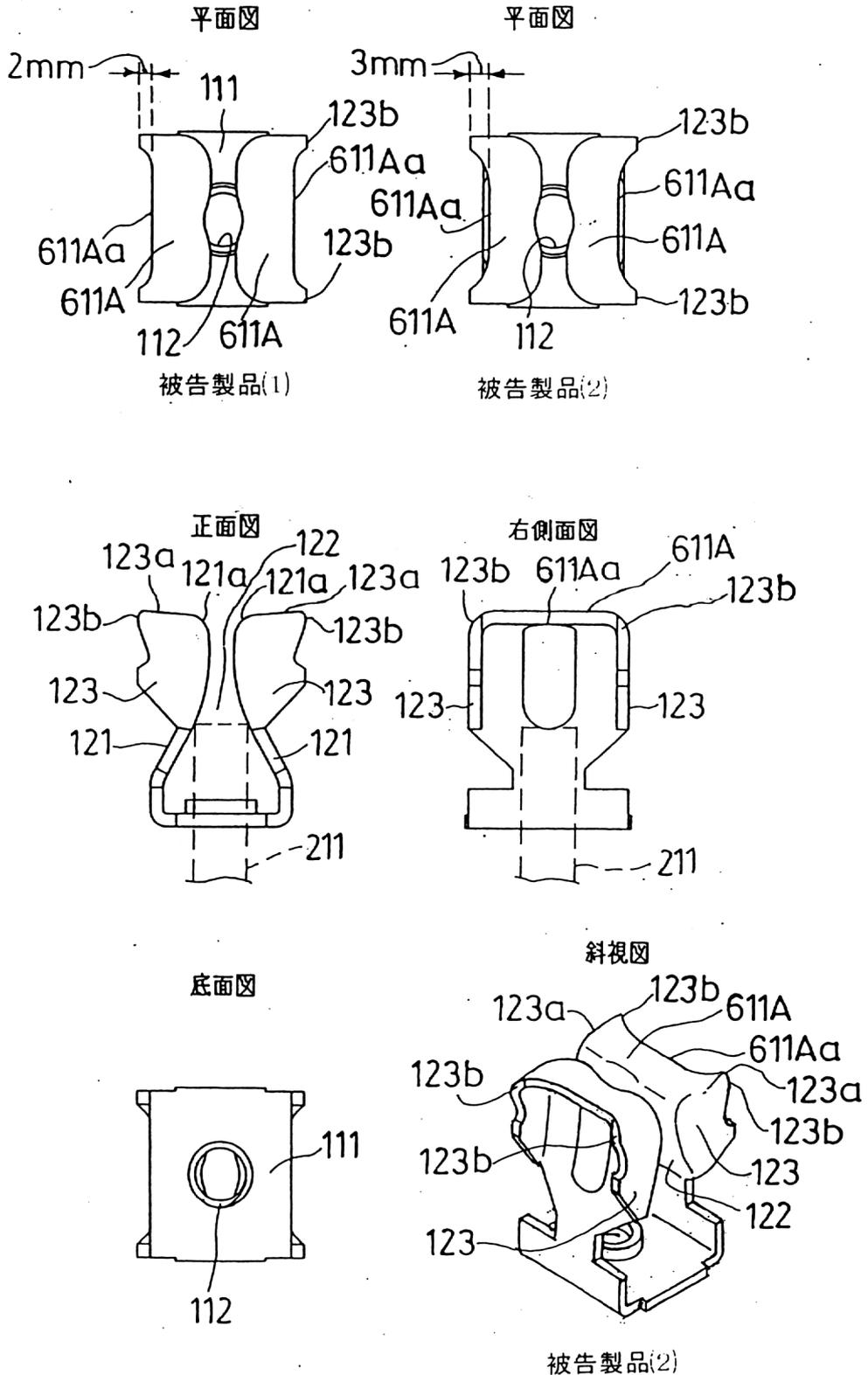
- a 吊りボルト 2 1 1 が貫通される底板 1 1 1 と、この底板 1 1 1 の両端部から上方に起立してその間に吊りボルト 2 1 1 の貫入を許容する一対の係着翼 1 2 1, 1 2 1 とを備える吊りボルト係着金具であって、
- b 前記底板 1 1 1 は、平面形状が矩形でその中央部に吊りボルト 2 1 1 と螺合するねじ穴 1 1 2 を備え、
- c 前記係着翼 1 2 1 は、狭間部 1 2 2 と爪部 1 2 3 と補強枠部 6 1 1 A とを備え、
- d この狭間部 1 2 2 は、両翼 1 2 1, 1 2 1 の間隔が吊りボルト 2 1 1 の径よりも小さくされ、大きな回動操作力による吊りボルト 2 1 1 の前記狭間部 1 2 2 への圧入によって両翼 1 2 1, 1 2 1 の間隔が広げられるものであって、前記狭間部 1 2 2 の間隔は、上方に行くに従って狭くなっていくものであり、
- e この爪部 1 2 3 は、絞り曲げによって各係着翼両側部から前記両翼間隔拡大の方向に向けて形成され、かつ、あり溝内に嵌合するものであって、前記両翼間隔拡大はあり溝開口幅方向に連続的になされ、吊りボルト 2 1 1 が前記狭間部 1 2 2 に圧入されることによってあり溝に嵌合するものであり、
- f 前記補強枠部 6 1 1 A は、前記一対の爪部 1 2 3, 1 2 3 の上端部 1 2 3 a, 1 2 3 a と係着翼 1 2 1 の上端部 1 2 1 a とに囲繞され、絞り加工によって一対の爪部 1 2 3, 1 2 3 と係着翼 1 2 1 とに一体形成され、
- g 且つ前記補強枠部 6 1 1 A の中央部 6 1 1 A a は、前記一対の爪部 1 2 3, 1 2 3 の上端部 1 2 3 a, 1 2 3 a の先端縁 1 2 3 b, 1 2 3 b から係着翼 1 2 1 側に向かって略 U 字状に削られて形成され (因みに、平面図に示すように、被告製品 1 の前記補強枠部 6 1 1 A の中央部 6 1 1 A a は略 U 字状に約 2 mm 削られており、被告製品 2 の前記補強枠部 6 1 1 A の中央部 6 1 1 A a は略 U 字状に約 3 mm 削られている。), これによって、前記一対の爪部 1 2 3, 1 2 3 の上端部 1 2 3 a, 1 2 3 a の先端縁 1 2 3 b, 1 2 3 b は尖頭状に形成され、該尖頭

状先端縁 1 2 3 b, 1 2 3 b は, 一つの爪部 1 2 3, 1 2 3 と係着翼 1 2 1 とに
一体形成される前記補強枠部 6 1 1 A とともにあり溝に嵌合するものであり, 前
記補強枠部 6 1 1 A の中央部 6 1 1 A a もあり溝内に収容されている,

h 吊りボルト係着金具。

(別紙)

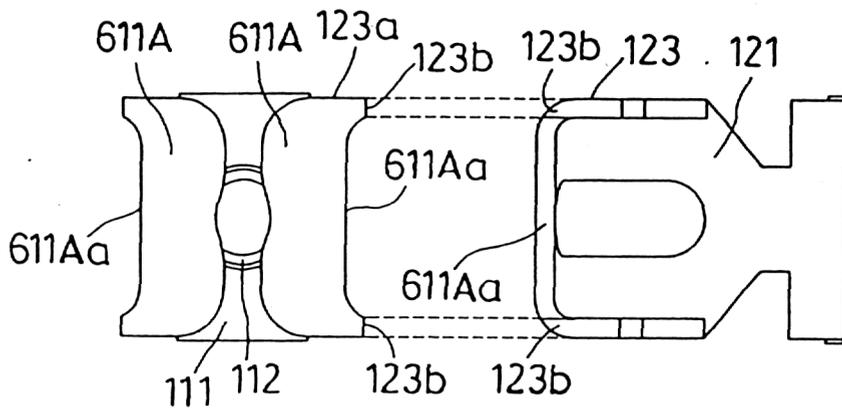
被告物件の図面



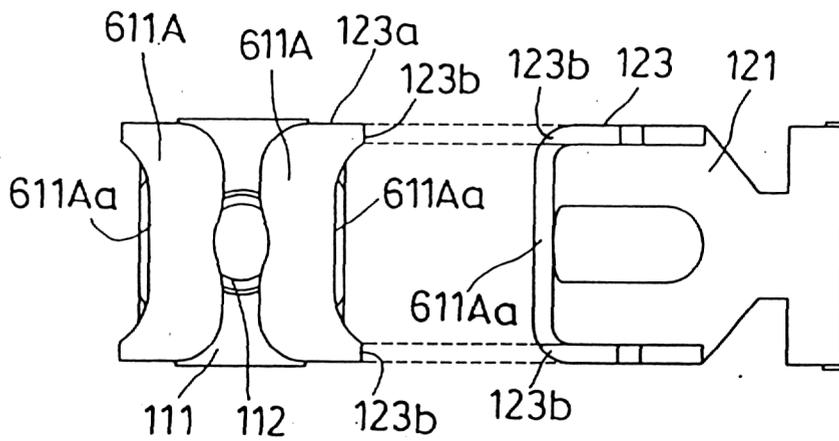
(別紙)

被告物件の図面

爪部と補強枠部との境界部分の説明図



被告製品(1)



被告製品(2)